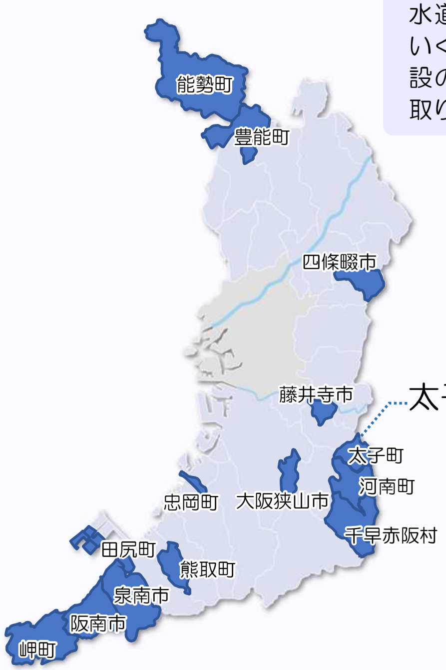
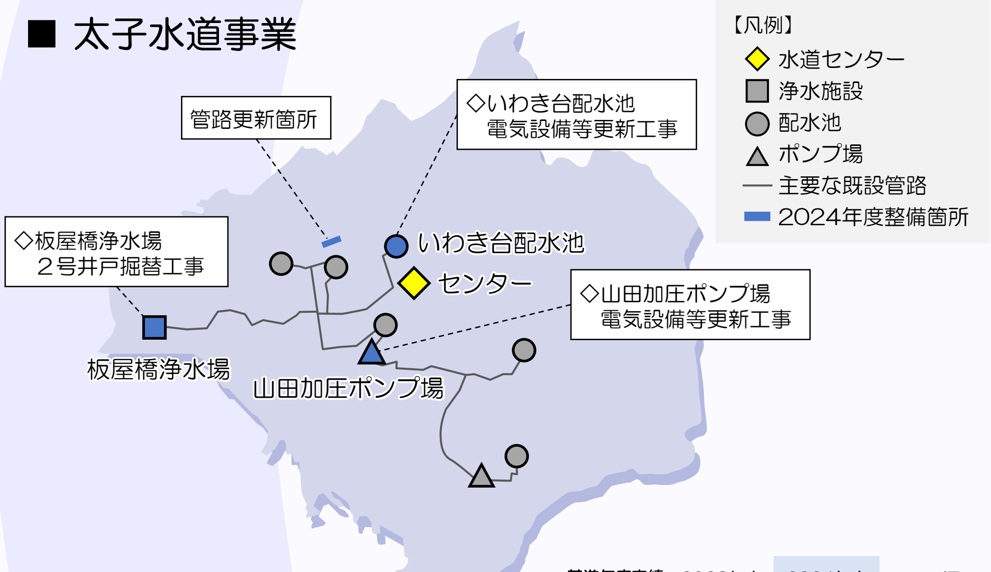
2024年度の主な取組

■ 市町村域水道事業(13水道事業)

水道水の安定供給を持続していくため、老朽化が進む水道施設の計画的な更新・耐震化に取り組んでいます。



■ 太子水道事業

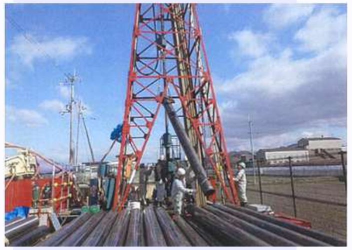


管路の耐震管率		基準年度実績 (2021年度)	2023年度 実績	2024年度 実績	目 標 (2029年度)
	基幹管路	34%	39%	40%	39%
	重要施設配水管路※1、2 (耐震適合率)	—	0% (23%)	0% (23%)	0% (23%)

※1 「上下水道耐震化計画」の策定に伴い、「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しました。

※2 耐震管以外でも「布設された地盤の状況などから耐震性があると評価できる管(耐震適合性のある管)」があり、これらが更新基準年数を経過していないため、計画期間中の更新を見込んでいません。

2024年度の執行額は2.0億円で、主な事業は次のとおりです。



基幹浄水場の更新

■ 板屋橋浄水場2号井戸掘替工事

太子町域の約4割を担う自己水の浄水場において、取水量の減少が見られる2号井戸の掘替を実施しました。

2024年度執行額 58百万円

その他の取組

■ 更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を進めています。2024年度は漏水リスクが高い管路である磯長地区の更新を実施しました。

重要施設配水管路の目標設定について教えて！

2024年1月に発生した能登半島地震で上下水道施設に甚大な被害が生じ、復旧が長期化したことを踏まえ、国土交通省から全国の水道事業者や下水道管理者に対し、重要施設※に接続する上下水道管路等の耐震化を推進するための「上下水道耐震化計画」を2025年1月までに策定するよう要請がありました。

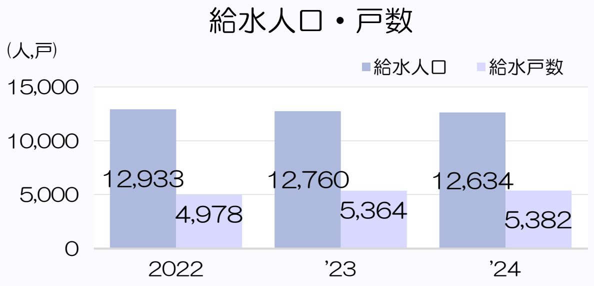
この計画策定に当たり、企業団と統合元団体で協議を行い、対象施設となる重要施設の見直し(地域防災計画とも整合)を行うなど、これらに接続する重要施設配水管路の耐震管率の目標値(2029年度)を設定しました(これにより一部の水道事業で従来の目標値から変更が生じています。)。

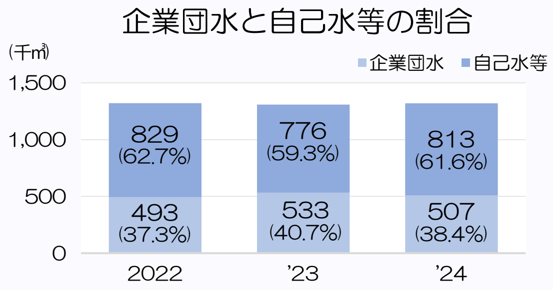
本アニュアルレポートにおいては、「上下水道耐震化計画」の目標値に対し実績の推移を報告します。

※ 災害時においても給水の重要性が高い医療機関、避難場所、福祉施設、防災拠点等の施設。なお、「上下水道耐震化計画」に合わせて「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しています。

■ 太子水道事業

給水人口や給水量の推移





2024年度末の給水人口は12,634人で、前年度と比べて126人(1.0%)減少しています。

また、給水戸数は5,382戸で18戸(0.3%)増加しています。

給水量は1,320千㎥で、前年度と比べて11千㎥(0.8%)増加しています。

財政収支

(単位：百万円、税抜)

収益的収支	2023決算(a)	'24決算(b)	差引(b)-(a)
収　益	250	264	14
給水収益	210	208	△ 2
長期前受金戻入	24	24	0
その他収入	17	28	12
特別利益	―	3	3
費　用	248	278	30
維持管理費	143	156	13
減価償却費等	102	120	18
支払利息	3	2	△ 0
特別損失	0	0	0
単年度損益	3	△ 14	△ 17

(単位：百万円、税込)

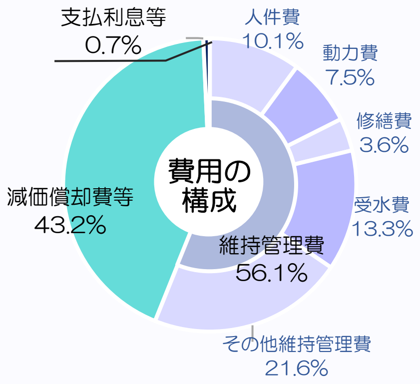
資本的収支	2023決算(a)	'24決算(b)	差引(b)-(a)
収　入	21	60	39
企業債	―	―	―
国庫補助金等	20	57	37
その他収入	1	3	2
支　出	110	247	137
建設改良費	90	227	137
企業債償還金	20	20	△ 0
その他支出	―	―	―
収支の差額	△ 89	△ 187	△ 98

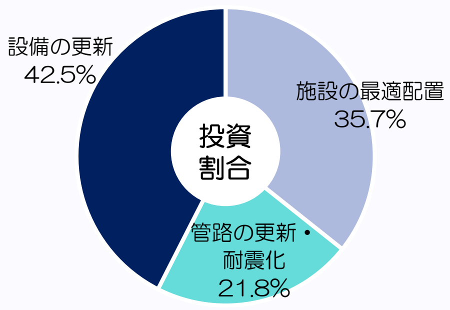
＊ 収支の差額については、積立金等で補てん

収益は、有収水量の減少に伴い給水収益が減少した一方、その他収入が増加したことにより、前年度と比べると14百万円増加しました。

費用は、統合水道料金システムの導入に伴うデータ移行に係る負担金や動力費等の増加により維持管理費が増加したことや、固定資産除却費が増加したことにより、前年度と比べると30百万円増加しました。

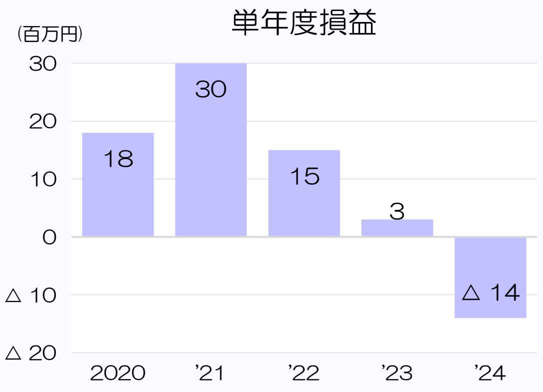
これらの結果、単年度損益は前年度に比べ17百万円減少し、14百万円の単年度損失となりました。

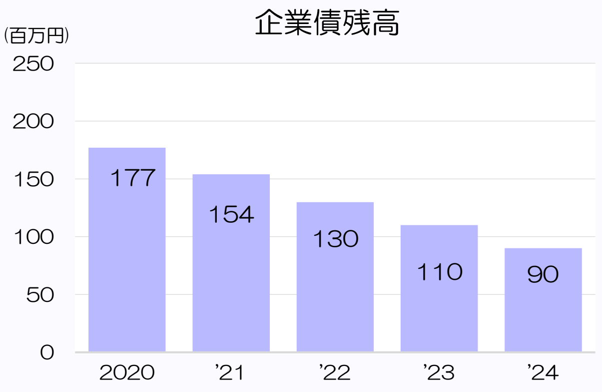


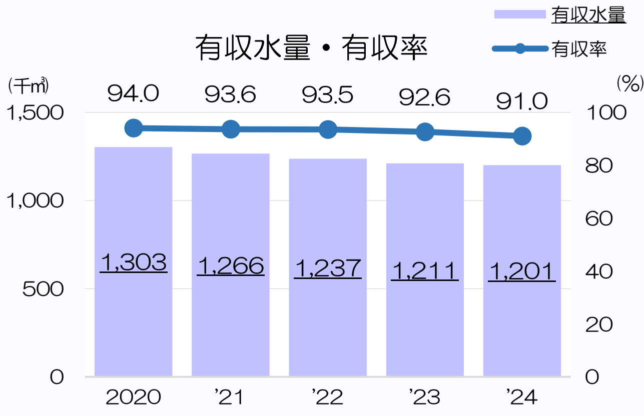


※ 投資割合は建設改良費の内訳のことです。

財政収支の推移

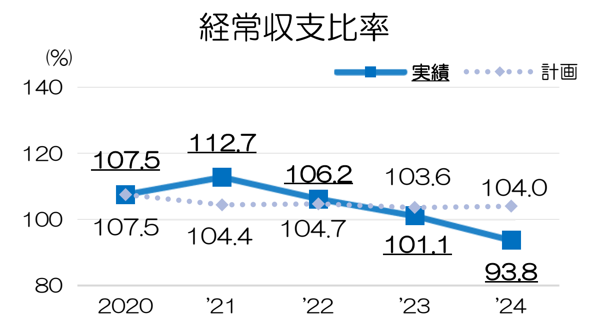






主な経営指標の状況

○：計画を達成　△：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満)　×：計画を未達成



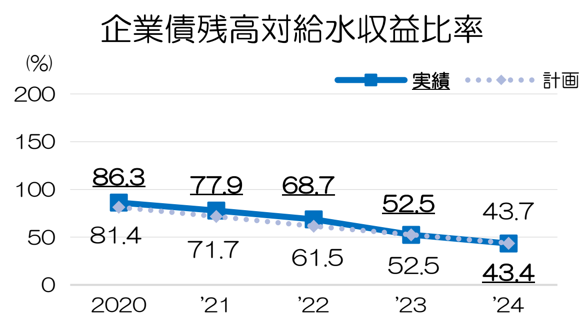
達成状況	2020	'21	'22	'23	'24
	○	○	○	△	×

〈算出式〉経常収益／経常費用×100

給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。

計画と比べ、維持管理費や固定資産除却費が増加したことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。 前年度と比べ7.3ポイント減少していますが、固定資産除却費の増加は一時的なものであり、2025年度は改善する見込みです。

【参考:2023年度類似団体平均値106.0%】



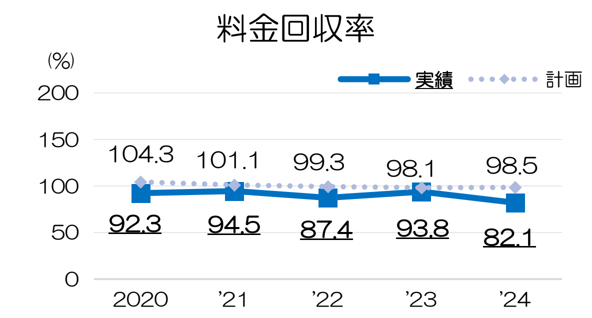
達成状況	2020	'21	'22	'23	'24
	×	×	×	○	○

〈算出式〉企業債現在高合計／給水収益×100

給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。

2024年度の実績は、計画を達成しました。また、前年度と比べ、企業債残高が減少したことから、9.1ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値430.2%】



達成状況	2020	'21	'22	'23	'24
	×	×	×	△	×

〈算出式〉供給単価／給水原価×100
(供給単価＝給水収益／有収水量)

給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。

計画と比べ、維持管理費や固定資産除却費が増加したことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べ11.7ポイント減少していますが、固定資産除却費の増加は一時的なものであり、2025年度は改善する見込みです。

【参考:2023年度類似団体平均値90.7%】